

株式会社ファーストについて

株式会社ファーストは1968年に名古屋にて創業した、
サイン・ディスプレイのメーカーとなります。
街の様々なシーンで生活者の暮らしの役に立つ、
サインやディスプレイ用品、デジタルサイネージなどを取り扱っております。



主な納入シーン

商業施設、公共施設、飲食店舗、医療施設
教育機関、オフィス、工場など
情報コミュニケーションが必要な空間

自社の強み

- ・ 汎用性の高いパーツ開発力（すでにある多数の部品）
- ・ パーツを組み合わせて商品をつくるエンジニアリング
- ・ 販売（営業）、開発（ものづくり）多能工が多い

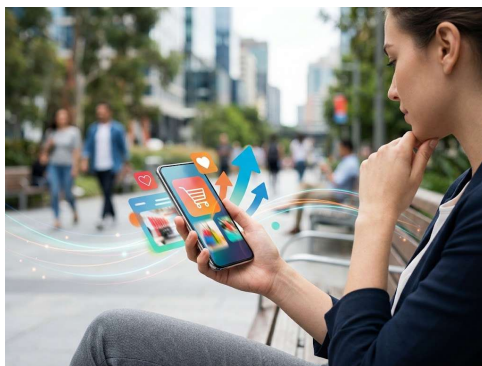
会社としてなぜ新規事業にチャレンジしようと思ったのか？

既存事業の現在



販促資材としての
サイン・ディスプレイ用品
デジタルサイネージ

感じている変化・危機感



生活者のライフスタイルの
変化による
サイン・ディスプレイの
あり方の変化

新規事業で目指すこと



情報コミュニケーションによる
インフラとしての
サイン・ディスプレイ商品の開発

今回の事業案を設定した背景

こうした背景から、**「ワークスペースサイネージ」**を今回の事業テーマとして設定

事業テーマの設定きっかけ

- 情報が不足している現場
- 街から看板が消えた
- サインに限らず、デバイスが組合せられる

検討で見えてきたこと

- サイネージの可能性は広い
- 情報共有が必要な場所
→ワークスペース
(オフィス、工場)
- 多様な人材に合わせた表現手法

選んだ理由

- 商業的要素に比べ、
今後も伸びしろがある
- 色々なデバイスを組み合わせて
ソリューションをつくれる
- 今後、具体的な検証を進められる

何がきっかけだったか

ws等で何が分かったか

なぜ数あるテーマの中からこれを選んだか

今回 取り組む事業

〔ワークプレイス〕の〔情報共有不足〕に対して、
当社の〔サイネージ〕を活かし、〔情報インフラ〕を実現したい。



誰に

会社や工場の従業員
管理者、経営者



課題・ニーズ

情報の共有不足
理念やビジョンの浸透不足



どう解決するのか

情報発信媒体を設置
自然と共有できるように

ワークスペースサイネージの実現に向けて、
ワークスペースソリューションを持った
パートナーと組んで取り組んで行きます！

サイネージ筐体
各種パーツ

×

センサー、カメラ、
マイクなどのデバイス
各種ソリューション
システム